

令和 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2023 年 5 月 24 日

学 長 殿

所属部局・職名 環境放射能研究所・特任講師

申請者名 五十嵐 康記

<p>助成の区分 (該当するものに○)</p>	<p>○ 学会参加助成 学術出版助成・学術論文掲載料等助成</p>
<p>事業名</p>	<p>The General Assembly 2023 of the European Geosciences Union への参加</p>
<p>成果の概要</p>	<p>European Geosciences Union (EGU) General Assembly 2023 が、2023/4/24~28 の期間でオーストリア・ウィーンにて開催された。EGU は約 1.5 万人の会員を抱えるヨーロッパ最大規模の地球科学系の学会である。今回の発表では、申請者らが受託している環境省推進費の成果として、チェルノブイリ立入禁止区域内における河川水中の <math>^{90}\text{Sr}</math> と <math>^{137}\text{Cs}</math> 濃度の形成過程とそれに影響する環境要因に関する発表を実施した。5/26 午前に対面方式で設定されたポスターのコアセッションでは、チェルノブイリや福島に関連する研究者らが多数発表を聞きにきており、実際のサンプリングを実施した 2018 年当時から、現在までの現地およびリモートでの活動状況を事細かに説明することができました。さらに、本研究発表には、河川の水質や土砂移動、重金属等の環境中の有害物質に関する研究を実施している様々な国籍の研究者からも訪れており、現地での議論を通じ、研究の改善点や次へのアイデア、さらに今後の共同研究の可能性についても議論する事ができました。これらの経験は、本学における今後の研究活動において必ず役立つものと考えております。このような助成の機会を頂きました事を感謝申し上げます。</p> <div data-bbox="427 1563 901 1908"> </div> <p>環境放射能研究所の Alexei Konoplev 先生と会場にて</p>